放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年10月16日

事業所名 古民家ゆめの森こども園 職員数 6 回収数 6 割合 100 %

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	6	0		活動スペースは十分確保できています
	2	職員の配置数は適切である	6	0		国の基準人数は確保できています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	6	0		現在身体的な障がいのある子どもの受け入れはしていないが、スローブ等パリアフリー化している箇所はあります 今後必要があれば改善していきたいです
業	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	午前中に振り返りや活動、支援方法について 話し合ったり、ケース会議を行いプランを立て ています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	送迎時などに保護者からのご意見を聞いたり、LINEを活用してやりとりをしています	
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6	0		HPで毎年公開しており、今後も行うよう努めます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	6	0		第3者評価ではないが県内外から他企業の方とつながり、 評価を受けている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		年に数回園内での研修を実施し職員の質の向上に努めて いますが、必要に応じて外部研修にも少しずつ参加してい きたいです
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等ディサービス計画を作成している	6	0	児童や保護者の方のご意見を尊重しながら 児童の課題や現状を職員で話し合い、個別支 援計画を立案しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2	4		ミーティングの中で日々の子どもたちの行動を分析し、見直 しが必要であればより効果的な支援ができるよう意見を出 し合い取り組むよう努めます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	定期的に職員同士が意見を出し合い、チーム ワークを大事にしながら活動内容を決めてい ます	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	児童を支援する職員を固定化せず、いろいろ な職員が寄り添うことで活動に変化を持たせ るようにしています	
適	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	平日は一人一人の課題や状況に合わせた活動、長期休暇は集団行動をとる活動を取り入れ、児童の課題を見つけるようにしています	
週切な支援	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	モニタリングを月末に行い、個別または集団 での様子を分析して個別支援計画書を作成し ています	
の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	0	午前中に当日の子どもの利用予定や送迎時間の確認、支援内容を話し合うようにしていま す	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6	0	支援終了時に職員全体でその日気になったことや変わった様子を伝えあい、全員で情報を 共有するようにしています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援目標に沿って児童の様子を記録しています すまた気になる行動などは記入者に伝え記録す るようにしています	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	半年に一度全体でモニタリングを確認しなが らサービス計画の見直しをしています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	6	0	ミーティング時にガイドラインの基本活動を周 知し、支援に反映させるよう努めています	

関係機関や保護者との連携		障害児相談支援事業所のサービス担当者		_	サービス担当者会議には児童発達支援管理	
	20	会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	責任者が参加するようにしています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	毎月保護者の方から学校の下校時間等を記載する「利用予定表」を提出していただいています 急な変更については、その都度学校または保護者の方から直接ご連絡をいただいています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療ケアを必要とする児童や医療従事者が在籍していない ため、受け入れを行っていません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	就学時の入所児については支援会議の中で 情報共有をお願いしていますが、その他の場 合は保護者の方から情報をいただいています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している				該当者がいません 事業所から依頼があれば、保護者と本人の許可を得た上 で情報提供をするようにしています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	6	0	支援会議を通して利用児童が関わっている専門機関から助言等をいただいたり、相談員さんを仲介し発達支援センターなどから情報を得ています その際は職員全体で共有しています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		通常児童クラブや児童館との交流はありません
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	5		今後参加するよう努めます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	0	日々の送迎時に児童の様子を保護者にお伝えするように心がけていますまた、必要な場合は電話やLINE等でお伝えするようにしています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	0	6		現在取り組みはありませんが、必要に応じて今後検討していきたいと思います
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	当事業所を利用される前に見学をしてもらったり、入所時に説明するようにしています 支援内容については必要に応じて個別で説 明するようにしています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	必要に応じて保護者の方に来訪または電話、 LINE等で相談を受けるようにしています	
保	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	5		現在コロナウィルスの感染予防のため保護者会等は実施していませんが、奉仕活動など戸外での活動を中心に計画、 実施を検討していきたいと思います
護者への説	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	6	0	苦情の内容については真摯に受け止め、できる限り迅速に対応できるよう努め、職員間でも 周知しています	
説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	2	会報等の発行はできていませんが、児童のグループLINE等を通してお知らせするように心がけています 今後会報等の発行も検討していきたいと思います	
	35	個人情報に十分注意している	6	0		今後も適切に情報管理に努めてまいります
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	児童の状況に応じて視覚的に提示したり、その都度理解できるまで繰り返し声掛けをする 等配慮をしています 保護者に対してはLINEや文章で伝えあい、内 容が間違っていないか等確認する努力をして いる	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	6	0	定期的にお話し会をしたり、行事に近隣の方 を誘ったりするようにしている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	4	2		マニュアルは作成しており職員間でのシミュレーションを 行っていますが、保護者の方には周知できていないため、 今後周知を図っていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に訓練を実施しています	
		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	年に一度は必ず虐待防止研修を行っておりま す	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				特に必要性のあるお子さんがいないため、記載をしていません
		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	食物アレルギーの有無は入所時のアセスメントで確認をしていますまた、アレルギーのある児童については指示書や診断書を提出していただき、保護者の方と適宜相談をしながら対応しています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	6		記録をとり再発防止に向けて職員間で共有しています	